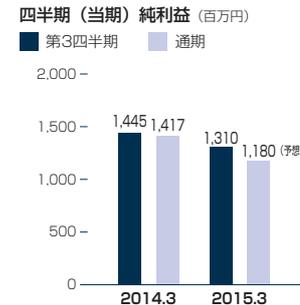
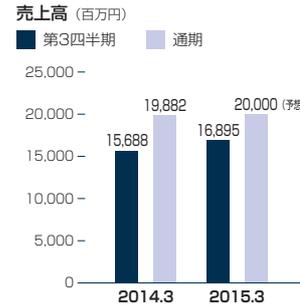




## 当第3四半期の連結業績

	(第3四半期実績)	(前年同期比)
売上高	16,895百万円	7.7%増
営業利益	2,177百万円	3.3%減
営業利益率	12.9%	1.5pt減
四半期純利益	1,310百万円	9.4%減
1株当たり四半期純利益	41円66銭	2円81銭減

製品別売上高 (百万円)	(第3四半期実績)	(構成比)	(前年同期比)
上場会社 ディスクロージャー関連	7,189	42.6%	3.5%増
上場会社IR関連等	4,966	29.4%	15.3%増
金融商品 ディスクロージャー関連	4,391	26.0%	7.4%増
データベース関連	347	2.0%	0.1%増



## 資産・負債の状況 (百万円)

流動資産	13,890	流動負債	3,701
固定資産	13,474	固定負債	2,728
		負債合計	6,430
		純資産合計	20,934
資産合計	27,365	負債純資産合計	27,365

## 1株当たり四半期(当期)純利益 (円)



## 株主優待

毎年3月末日現在の株主様を対象に、保有年数\*と所有株式数に応じてQUOカードを贈呈しております。

	1年未満	1年以上	3年以上
100株以上	500円	1,000円	1,500円
1,000株以上	1,000円	3,000円	5,000円

\*「保有年数」は、同一の株主番号が株主名簿に継続して記載されている年数です。

株主通信 2015年3月期 第3四半期決算ご報告  
(2014年4月1日~2014年12月31日)

株式会社プロネクサス 証券コード：7893  
(東証一部)

株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先：〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-232-711 (通話料無料)

●本報告書は2014年9月末時点での株主の皆様にお送りしています。

まずこちらを

開

濡れている場合は乾かしてから  
はがしてください。

## 会社概要 (2014年12月31日現在)

商号	株式会社プロネクサス
創業	1930年12月15日
設立	1947年5月1日
資本金	30億5,865万500円
本社	〒105-0022 東京都港区海岸一丁目2番20号 汐留ビルディング
主な事業内容	ディスクロージャー・IR実務に係る総合的支援サービス
従業員数	977名(連結) 618名(単体)

### 主な事業所および工場

大阪支店	札幌営業所	名古屋営業所
広島営業所	福岡営業所	戸田工場

### PRONEXUSグループ会社

株式会社アスコミュニケーションズ / 日本財務翻訳株式会社 / 株式会社 a2media  
Japan REIT株式会社 / 台湾普羅納克廈斯股份有限公司(プロネクサス台湾)

## 株式インフォメーション

### ■株式に関するお手続きについて

#### 1.証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
郵送物等の発送と返戻に関するご照会	株主名簿 管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目1番11号 ☎ 0120-232-711
支払期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ	
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

#### 2.特別口座に記録された株主様の株式に関する各種お手続きに関しましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記へお問い合わせください。 なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

お問い合わせ先 ☎ 0120-232-711

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

### ■株主優待・IR/財務情報に関するお問い合わせはこちらへ

株式会社プロネクサス 社長室 03-5777-3145

メールアドレス [asp@pronexus.co.jp](mailto:asp@pronexus.co.jp)

注記事項 ※本報告書は、2015年1月30日発表の2015年3月期第3四半期決算短信の数値、文章を基に作成しています。その後公表される可能性がある訂正情報、業績予想の修正情報や決算の詳細につきましては、当社ホームページにてご確認ください。

## 株主の皆様へ

### 国内証券市場の活況 を背景に、既存事業 の強化、新規事業の 拡大をさらに 進めてまいります。



郵  
便  
は  
が  
き

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第3四半期(4-12月の四半期連結累計期間)は、証券市場の活況に加えて、次世代EDINETの導入に伴う増収等のプラス要因により、全製品分野で売上が増加した結果、売上高は、16,895百万円(前年同期比7.7%増)となりました。利益面では、次世代EDINET対応コストの発生等により売上原価率が上昇したことに対して、販管費を抑制することでコスト増の吸収を図りましたが、営業利益は2,177百万円(同3.3%減)、経常利益は2,187百万円(同5.1%減)、四半期純利益は1,310百万円(同9.4%減)となりました。

当社事業との関連性が高い国内証券市場においては活況が続き、日経平均株価が昨年末には17,000円台まで上昇、上場会社数も6年半ぶりに増加、投資信託の販売も好調を維持しています。こうした好環境を背景に、引き続き既存事業の強化、シェアアップを図るとともに、台湾でのBPO事業等を始めとした新規事業の拡大を進めてまいります。株主の皆様には変わらぬご支援、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

2015年2月  
代表取締役社長 上野 剛史

## 製品別の概況

### <上場会社ディスクロージャー関連>

次世代EDINETに対応する新たなサービスの投入により、売上高は7,189百万円(前年同期比3.5%増)となりました。なお、当分野の売上高に影響する国内上場会社の数は、昨年末時点で前年同期比約30社増の3,557社となっています。

### <上場会社IR関連等>

株主総会招集通知のカラー化の影響等により株主通信は減少しましたが、IR資料の翻訳サービスや株主優待ツールがこの減少分を大きく上回りました。また、当社連結子会社のコールセンターサービスの売上高が急増した影響により、売上高は4,966百万円(同15.3%増)となりました。

### <金融商品ディスクロージャー関連>

目論見書や運用報告書の受注増に加え、様々な種類の販売用資料やWebサービスの受注が拡大しました。市場拡大が続くJ-REIT分野や、IPOやファイナンスの案件減少により、前年同期並みとなり、この結果、売上高は4,391百万円(同7.4%増)となりました。

### <データベース関連>

様々なニーズに対応する機能・メニューの開発や次世代EDINET対応を含むバージョンアップ、利用促進を図る支援サービス等を継続した結果、売上高は、前年同期とほぼ同額の347百万円(同0.1%増)となりました。

## 株主還元

### 1. 配当方針

連結配当性向「30%以上」を基準として、安定配当をベースに業績、経営環境等を総合的に加味した配当を継続してまいります。

実績・予想	年間配当金(円 銭)			配当性向(%)
	第2四半期末	期末	合計	
2014年3月期	9.00	11.00	20.00	45.8
2015年3月期(予想)	9.00	9.00	18.00	48.0

### 2. 自己株式の取得・消却状況(2013/4~2014/12)

●2013/5:約1,000千株取得→同月1,000千株消却

●2014/7:約1,000千株取得

●2014/11:1,500千株取得

■この結果、2014年12月末時点で発行済株式総数が36,327千株となり、うち6,383千株(17.6%)を自己株式として保有しています。